



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月13日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東
 コード番号 3541 URL <https://www.nousouken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 及川 智正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 坂本 大輔 TEL 03-6417-1047
 四半期報告書提出予定日 2023年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の業績（2022年9月1日～2023年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	4,221	10.2	9	—	14	—	10	—
2022年8月期第3四半期	3,829	—	△133	—	△123	—	△139	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	0.49	—
2022年8月期第3四半期	△6.41	—

(注) 1. 前第1四半期会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。このため当該基準等を適用する前の第3四半期累計期間の売上高に対する増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	2,385	909	38.1
2022年8月期	2,441	898	36.8

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 909百万円 2022年8月期 898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2023年8月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 2023年8月期の業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	6,000	15.5	20	-
	～6,500	～25.2	～50	-

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2023年8月期の個別業績予想についてはレンジ形式により開示しております。詳細は添付資料（P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年8月期3Q	22,025,900株	2022年8月期	22,025,900株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年8月期3Q	3,970株	2022年8月期	1,970株
------------	--------	----------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年8月期3Q	22,022,735株	2022年8月期3Q	21,779,497株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料（P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」）に記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

近年の全国農業総産出額は、米、野菜、肉用牛等における需要に応じた生産の取組等により、9兆円前後で推移しております。2021年の農業総産出額は、肉用牛の輸出増加や需要回復、鳥インフルエンザによる鶏卵価格の高騰が見られた一方、米の民間在庫量が高い水準で推移したことや野菜が出荷量増加により安値となったこと等から、前年に比べ986億円減少し、8兆8,384億円となりました(出典：農林水産省「生産農業所得統計」)。他方で、2022年2月時点の農業経営体数97万5千経営体のうち、個人経営体は93万5千経営体で、前年に比べ5.4%減少した一方、団体経営体は4万経営体で1.5%増加しております(出典：農林水産省「農業構造動態調査」)。農業経営体の減少が続く中、法人化や規模拡大の進展が継続し、農業集約化の動きも加速するものと予想されます。

当第3四半期累計期間における青果価格は、冬季は気候が安定したこと等により、平年に比べ低下トレンドとなったものの、春季より平年並みに回復してまいりました。他方、当第3四半期累計期間におけるスーパーマーケットにおける青果需要は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更されたことで外食や旅行等の消費活動の活発化に伴う内食需要の反動減、食料品等の相次ぐ値上げによる青果物の買い控え等の影響により、前年に比べ減少いたしました。

このような環境のもと、より多くの生活者に「おいしい」をお届けするために、これまで当社が進めてきた農家の直売所事業に加え、スーパー等の通常の青果売場で販売する産直卸事業を推進いたしました。前事業年度に締結いたしました富山中央青果株式会社や国分グループ本社株式会社とのアライアンスを継続するとともに、当第3四半期累計期間では、ハウス食品グループ本社株式会社との資本業務提携契約の締結やドラッグストアへの販路拡大等、新しい農産物流通の創造に向けた取組の深化を進めてまいりました。また、手数料の改定や取引の精査を行い、事業基盤の強化に努めました。

このような取組みの結果、流通総額は9,683,608千円(前年同四半期比0.7%増)、2023年5月末日時点でスーパーマーケット等の国内小売店への導入店舗数は1,982店舗(前事業年度末より48店舗増)、農産物の集荷拠点である集荷場は92拠点(前事業年度末より増減なし)、登録生産者は10,445名(前事業年度末より187名増)まで拡大いたしました。

当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は4,221,721千円(前年同四半期比10.2%増)、営業利益は9,759千円(前年同四半期は営業損失133,480千円)、経常利益は14,920千円(前年同四半期は経常損失123,882千円)、四半期純利益は10,720千円(前年同四半期は四半期純損失139,588千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①農家の直売所事業

農家の直売所事業では、当社及び業務委託先が運営する集荷場で登録いただいた生産者から農産物を出荷し、原則翌日にスーパー等の「産直コーナー」で販売する独自の流通プラットフォームを提供しております。

当第3四半期累計期間は、既存委託販売先との取引維持・拡大に加え、登録生産者獲得のため、集荷場を拠点とした営業活動を行ってまいりました。既存取引の精査や見直し、関東の集荷場において登録生産者からいただく出荷手数料の改定等を行い、利益率向上施策を実施してまいりました。

これにより、流通総額は8,359,208千円(前年同四半期比4.0%減)、流通点数は44,880千点(前年同四半期比4.0%減)、売上高は2,897,320千円(前年同四半期比1.0%減)、セグメント利益は462,281千円(前年同四半期比47.0%増)となりました。

②産直卸事業

産直卸事業では、当社が生産者から直接農産物を買取り、商品の「パッケージ」、売場の「POP」、生産者のおすすめ「レシピ」などで商品の付加価値を可視化し、スーパー等の通常の青果売場である「青果コーナー」で販売しております。

当第3四半期累計期間は、全国の産地や市場との連携により商品供給を強化するとともに、ブランディングを通じて販売力を強化し、既存取引先であるスーパー等の旺盛なニーズに対して、取引品目や取引量を拡大してまいりました。

これにより、流通総額及び売上高は1,324,400千円(前年同四半期比46.5%増)、セグメント損失は7,096千円(前年同四半期はセグメント損失6,637千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ56,419千円減少し、2,385,133千円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比べ33,041千円減少し、1,944,478千円となりました。これは主に、現金及び預金

の減少31,149千円、売掛金の減少20,496千円、その他流動資産の増加11,471千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比べ23,378千円減少し、440,655千円となりました。これは主に、有形固定資産の減少12,895千円、無形固定資産の減少10,682千円、投資その他の資産の増加199千円によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ67,140千円減少し、1,475,526千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ24,373千円減少し、1,164,104千円となりました。これは主に、買掛金の増加4,753千円、短期借入金の減少14,994千円、未払法人税等の減少19,648千円、賞与引当金の増加18,652千円、その他流動負債の減少19,822千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ42,766千円減少し、311,422千円となりました。これは主に、長期借入金の減少42,795千円等によるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ10,720千円増加し、909,606千円となりました。これは主に資本金の減少496,633千円、資本剰余金の増加317,495千円、利益剰余金の増加189,857千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年10月13日の「2022年8月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

当事業年度の外部環境につきましては、食の安心・安全への生活者の意識の高まりや新型コロナウイルス感染症拡大以降に内食需要が定着いたしました。他方、スーパーマーケットにおける青果需要は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更されたことで外食や旅行等の消費活動の活発化に伴う内食需要の反動減、食料品等の相次ぐ値上げによる青果物の買い控え等の影響により、前年に比べ減少し、今後の見通しは不確実性が高くなっております。そのような外部環境の中、当社の主たる事業である農家の直売所事業及び産直卸事業は、スーパーや生産者等の既存取引先へ営業活動の強化に加え、スーパー以外への販路拡大や異業種とのアライアンス等の新しい取り組みを実施し、流通総額の拡大を図ってまいります。また、更なる物価の上昇や物流費の増加等も想定されることから、出荷手数料改定のような利益率向上施策にも引き続き取り組んでまいります。

以上により、2023年8月期の業績見通しにつきましては、流通総額13,500,000千円～14,000,000千円（前年同期比2.4%～6.2%増）、売上高6,000,000千円～6,500,000千円（前年同期比15.5%～25.2%増）、営業利益20,000千円～50,000千円（前事業年度は営業損失123,024千円）を見込んでおります。

なお、経常利益や当期純利益につきましては、補助金等の活用状況や繰延税金資産の計上等、合理的に見通すことが困難であるため、現時点では開示しておりません。今後開示が可能となった段階で速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,064,091	1,032,942
売掛金	887,093	866,597
商品	14,447	21,427
その他	17,234	28,706
貸倒引当金	△5,347	△5,195
流動資産合計	1,977,519	1,944,478
固定資産		
有形固定資産	92,082	79,186
無形固定資産	120,729	110,047
投資その他の資産	251,221	251,421
固定資産合計	464,033	440,655
資産合計	2,441,553	2,385,133
負債の部		
流動負債		
買掛金	756,901	761,655
短期借入金	68,346	53,352
1年内返済予定の長期借入金	65,430	57,060
未払金	156,985	172,041
未払法人税等	23,932	4,283
賞与引当金	40,648	59,300
その他	76,233	56,411
流動負債合計	1,188,477	1,164,104
固定負債		
長期借入金	341,230	298,435
その他	12,959	12,987
固定負債合計	354,189	311,422
負債合計	1,542,667	1,475,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	546,633	50,000
資本剰余金	531,633	849,128
利益剰余金	△179,137	10,720
自己株式	△242	△242
株主資本合計	898,886	909,606
純資産合計	898,886	909,606
負債純資産合計	2,441,553	2,385,133

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	3,829,838	4,221,721
売上原価	1,750,933	2,053,268
売上総利益	2,078,904	2,168,452
販売費及び一般管理費	2,212,385	2,158,693
営業利益又は営業損失(△)	△133,480	9,759
営業外収益		
受取賃貸料	720	720
受取保険金	2,957	1,118
投資有価証券売却益	7,744	—
補助金収入	5,623	4,477
その他	2,071	847
営業外収益合計	19,117	7,162
営業外費用		
支払利息	2,598	2,001
株式交付費	6,921	—
営業外費用合計	9,520	2,001
経常利益又は経常損失(△)	△123,882	14,920
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△123,882	14,920
法人税、住民税及び事業税	13,721	4,291
法人税等調整額	1,984	△90
法人税等合計	15,706	4,200
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△139,588	10,720

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 前第3四半期累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)

当社は、2022年5月10日の取締役会決議に基づき、2022年5月30日付けで国分グループ本社株式会社を割当先として第三者割当による普通株式247,600株の新株発行を行っております。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が50,015千円増加、資本剰余金が50,015千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が546,633千円、資本剰余金が531,633千円となりました。

2. 当第3四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

当社は、2022年11月29日開催の定時株主総会の決議に基づいて、2023年1月12日付けで減資の効力が発生しており、資本金が496,633千円減少、資本剰余金が496,633千円増加しております。また資本剰余金179,137千円を利益剰余金に振り替えることにより、前期末における繰越損失△179,137千円を解消しております。

これにより、当第3四半期会計期間末において、資本金50,000千円、資本剰余金849,128千円、利益剰余金10,720千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	農家の直売所 事業	産直卸事業	計		
売上高					
委託販売システム	1,326,956	-	1,326,956	-	1,326,956
買取委託販売	1,441,796	-	1,441,796	-	1,441,796
卸販売	-	903,962	903,962	-	903,962
その他	157,123	-	157,123	-	157,123
顧客との契約から生じる収益	2,925,876	903,962	3,829,838	-	3,829,838
外部顧客への売上高	2,925,876	903,962	3,829,838	-	3,829,838
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,925,876	903,962	3,829,838	-	3,829,838
セグメント利益又は損失(△)	314,542	△6,637	307,905	△441,385	△133,480

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△441,385千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用441,385千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 前第2四半期会計期間より、売上高の内訳について、一部区分定義を変更しており、前第3四半期累計期間の売上高の内訳は、変更後の新しい算出方法に基づき作成したものを開示しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	農家の直売所 事業	産直卸事業	計		
売上高					
委託販売システム	1,390,809	-	1,390,809	-	1,390,809
買取委託販売	1,323,158	-	1,323,158	-	1,323,158
卸販売	-	1,324,400	1,324,400	-	1,324,400
その他	183,352	-	183,352	-	183,352
顧客との契約から生じる収益	2,897,320	1,324,400	4,221,721	-	4,221,721
外部顧客への売上高	2,897,320	1,324,400	4,221,721	-	4,221,721
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,897,320	1,324,400	4,221,721	-	4,221,721
セグメント利益又は損失(△)	462,281	△7,096	455,185	△445,425	9,759

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△445,425千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用445,425千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。